

レジメン名

CBDCA+PEM

出典 アリムタ適正使用ガイド2013年2月作成
J Clin Oncol 30,2012(suppl;abstr 7506)
LUNG CANCER 70(2010)71-76

実施部署区分

<input checked="" type="checkbox"/> 入院	<input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input type="checkbox"/> 処置
--	--	-----------------------------

対象疾患

非扁平上皮肺がん
<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 補助療法(術前・術後) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 原則PS0-1を対象とする

投与減量の基準

Plt \geq 5万/mm3かつANC<500/mm3 Plt<5万/mm3 ANC<1000/mm3かつ38.5℃以上 前コースで上記のいずれかを満たすとき75%doseに減量。 Plt<5万/mm3かつ出血を認めるとき50%doseに減量。 Grade1-2の粘膜炎を認めるとき、アリムタのみ50%doseに減量
--

1クール期間

総クール数

(次のクールまでの標準期間)

投与中止の基準

ANC	1500/mm3未満	PLT	7.5万/mm3未満※
Hb	8.0g/dL未満※	CLcr	45mL/min未満#
AST,ALT	120IU/L以上*	T-bil	1.8mg/dL以上*
その他	#CLcrの評価はCockcroft-GaultとeGFR×BSA/(1.73×0.715)のうち高い値を採用する。 *肝転移がある症例では、AST,ALT 200IU/L以上、T-bil 3mg/dL以上とする。		

※出典ではPlt 10万/mm3未満、Hb 9.0g/dL未満だが、制限が厳しいためGrade2の血液毒性として上記の値で登録

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
ペムレキセド	500mg/m ²	NS50mL (全量80mL以下)	10分	d1
カルボプラチン	AUC5(GFR+25)	5%TZ250mL	60-90分	d1
カルボプラチンの投与量計算に用いるGFRはCockcroft-GaultとeGFR×BSA/(1.73×0.715)のうち低い値を採用。 安定性の観点から、カルボプラチンの希釈液は5%TZを基本とする。				
ペムレキセド投与1週間以上前～最終投与日から22日目まで、葉酸0.5mg/日を連日経口投与とビタミンB12 1mg/回を9週間毎に筋注。				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
day1 ①グラニセロン3mg/kg+デキサト6.6mg(15-30min) ②生食50mL(フラッシュ) ③ペムレキセド500mg/m ² +生食(100mL)50mL(10min) ④生食50mL(フラッシュ) ⑤CBDCA+5%糖液250mL(60-90min) ⑥生食50mL(フラッシュ用)